

体育世話係になったら

体育世話係になったら、運動会や水泳指導やスポーツ大会などが一番に思いつくが、体育世話係の仕事で一番大切なのは、子どもの安全を守ることである。その次に大切なのは、どの学年、学級も体育指導がスムーズにできるよういろいろな準備をすることである。どんな仕事があるか、いくつかあげてみることにする。

もちろん、全職員の手本になるような「よい体育の授業」が出来るよう勉強することは言うまでもないことである。

1. 毎日の仕事

①朝の仕事

- 運動場の安全点検・・・石・ガラス・ビン・空き缶・ごみ その他
- 遊具の点検・・・・・・錆・破損 など

②放課後

- 体育倉庫
 - ・整理 ・器具の点検・整備・修理 ・ボールの空気入れ など
- 石灰倉庫の整備
- 体育館 体育倉庫
 - ・整理 ・器具の点検・整備・修理 ・ボールの空気入れ など
- 一輪車・・・点検・整備・修理
- 砂場・・・掘り起こしてやわらかくして、シートをかける。
- 雨の後は、運動場のくぼみに印をつけ、土をいれていく。

2. その他

①運動場のポイント打ち

- ・いろいろなラインが引きやすいようにどこにどのラインを引いたらよいか計画を立て、ポイントを打っていく。ポイントは、少ないほうがよい。
- ・運動場に全ラインを引いたときの「地図」を作る。

②全学年の年間指導計画

③運動場・体育館担当表

④運動会・水泳指導の計画

⑤保健関係は、養護教諭と相談する。

⑥その他 スポーツ大会 等

※区内の体育世話係会、全市のスポーツ協会などの各種会合へ、学校代表として出席。企画運営に当たる。